アグリセクト

天敵製剤の上手な使い方

ご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

はじめにお読みください

●商品の状態を確認しましょう

輸送用箱から製剤を取り出し、状態をご確認ください。
万一、状態に不具合を感じたら、お手数ですが弊社もしくはご注文店(JA)にお申し出ください。

●常温に戻してから放飼しましょう

輸送中の急激な温度変化から天敵生物を保護するため、輸送用箱に保冷剤を同梱しています。そのため、到着直後は天敵生物の動きが不活発になる時がありますので、放飼の際は製剤をゆっくり常温に戻してからご使用ください。

●出来るだけ当日に放飼しましょう

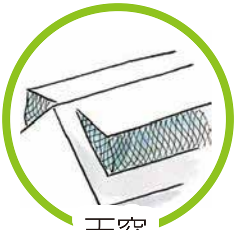
到着後、当日に全て放飼し、使い切って下さい。
万一、放飼が翌日になる場合は、輸送用箱(保冷剤同梱)の状態で冷暗所(直射日光が当たらず、20℃以下)に翌朝まで保管してください。
冷凍保管は絶対にお止めください。

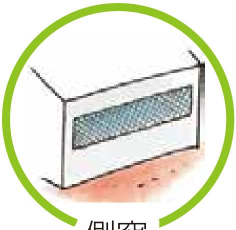
製剤容器のラベルをよくご確認いただき、
適用範囲内でのご使用をお願いします。

天敵製剤の効果を高めるために

施設開口部のネット展張

施設の天窓や側窓、出入り口などの開口部には、害虫の侵入対策と天敵の逸出防止のため、約1mm目合いの防虫ネットを展張しましょう。


天窓


側窓

出入り口

天敵生物が活動しやすい環境にしましょう

各導入天敵生物の活動最適温度が保てるように、施設内の温度を管理しましょう。

天敵生物名	活動最適温度(摂氏)
チリカブリダニ	20~30℃
ミヤコカブリダニ	15~30℃
ククメリスカブリダニ	17~25℃
タイリクヒメハナカメムシ	25~30℃
コレマンアブラバチ	20~25℃
ナミテントウ	20~30℃
オンシツツヤコバチ	20~28℃
スワルスキーカブリダニ	20~30℃
タバコカスミカメ	25~30℃

害虫を発生させない環境を作りましょう

●本圃への害虫寄生苗の持ち込み防止

育苗の段階から粘着捕虫資材を用いて、害虫の発生に注意しましょう。
また、定植時に粒剤などを利用すると効果的です。

●施設内外の除草（害虫発生源の除去）

施設内外の雑草は害虫の発生源となるため、こまめに除草を行いましょう。晩冬の頃に除草剤を利用すると効果的です。

トップシリーズの導入と上手な使い方

トップシリーズの導入について

①天敵製剤を放飼する前に、製剤の容器を輸送用箱から取り出し、ゆっくり常温に戻します（次ページから、天敵製剤トップシリーズの上手な使い方について記載しております）。

②天敵製剤を施設内に放飼します。

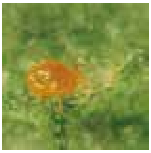
③天敵生物がよく定着するように、放飼から約1週間は葉面散布剤や農薬の使用は控えてください。

※これまで使用した農薬が天敵生物に影響しないか再度確認しましょう。

右の二次元バーコードを読み取っていただき、「天敵生物に対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について」を参考にして、天敵生物に影響の少ない農薬を選択してください。

※害虫が多発生している場合は、天敵生物に対して影響の少ない農薬を散布し、できるだけ害虫の密度を下げてから天敵を放飼してください。

チリトップについて



●農薬登録情報（商品名：チリトップ　天敵生物名：チリカブリダニ）

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第20852号	野菜類（施設栽培）	ハダニ類	6,000頭/10a

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チリカブリダニを含む農薬の総使用回数
発生初期	–	放飼	–

●放飼する前に

放飼直前にボトルをゆっくり20回程度回転させ、ボトル内のチリカブリダニの密度を均一にしてください。

●放飼する際

ハダニの発生場所およびその周辺と、ハダニの発生しやすい場所（施設の出入り口や側窓、暖房機付近）、例年ハダニの発生が見られる箇所には重点的に放飼してください。

●放飼した後

チリカブリダニの卵は、湿度が70%以下になると孵化率が極端に下がります。
チリカブリダニを定着させるために、施設内の湿度を高めに保ちましょう。
特にイチゴの高設栽培においては施設内が乾燥しやすいため、ご注意ください。

ミヤコトップについて

●農薬登録情報（商品名：ミヤコトップ　天敵生物名：ミヤコカブリダニ）

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第22894号	野菜類（施設栽培）	ハダニ類	約2,000~6,000頭/10a

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミヤコカブリダニを含む農薬の総使用回数
発生初期	–	放飼	–

●放飼する前に

放飼直前にボトルをゆっくり20回程度回転させ、ボトル内のミヤコカブリダニの密度を均一にしてください。

●放飼する際

ハダニの発生場所およびその周辺と、ハダニの発生しやすい場所（施設の出入り口や側窓、暖房機付近）、例年ハダニの発生が見られる箇所には重点的に放飼してください。

●放飼した後

ミヤコカブリダニは高い湿度を好むため、施設内の湿度を高めに保ちましょう。
特にイチゴの高設栽培においては施設内が乾燥しやすいため、ご注意ください。

メリトップについて

●農薬登録情報(商品名:メリトップ　天敵生物名:ククメリスカブリダニ)

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第20851号	野菜類(施設栽培)	アザミウマ類	100頭/株

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ククメリスカブリダニを含む農薬の総使用回数
発生初期	−	放飼	−

●放飼する前に

放飼直前にボトルをゆっくり20回程度回転させ、ボトル内のククメリスカブリダニの密度を均一にしてください。

●放飼する際

アザミウマが侵入しやすい施設の出入り口、側窓付近や、例年アザミウマの発生が見られる箇所には重点的に放飼してください。

●放飼した後

ククメリスカブリダニは高い湿度を好むため、施設内の湿度を高めに保ちましょう。

リクトップについて

●農薬登録情報(商品名:リクトップ　天敵生物名:タイリクヒメハナカメムシ)

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第21545号	野菜類(施設栽培)	アザミウマ類	1,000~3,000頭/10a

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	タイリクヒメハナカメムシを含む農薬の総使用回数
発生初期	―	放飼	―

●放飼する前に

放飼直前にボトルをゆっくり10回程度回転させ、ボトル内のタイリクヒメハナカメムシの密度を均一にしてください。

●放飼する際

アザミウマが侵入しやすい施設の出入り口、側窓付近や、例年アザミウマの発生が見られる箇所には重点的に放飼してください。

コレトップについて

●農薬登録情報（商品名：コレトップ　天敵生物名：コレマンアブラバチ）

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第20885号	野菜類（施設栽培）	アブラムシ類	4~8ボトル/10a（1,000~2,000頭）

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	コレマンアブラバチを含む農薬の総使用回数
発生初期	–	放飼	–

●放飼する前に

コレマンアブラバチは**ヒゲナガアブラムシ類には寄生できません。**
発生しているアブラムシの種類をよく確認しましょう。

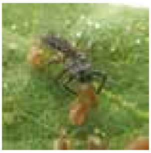
●放飼する際

施設内のアブラムシが発生している箇所付近の株元にボトルごと静置します。
直射日光の当たらない、水がかからない場所に置いてください。

●放飼した後

放飼から約3週間後、コレマンアブラバチのマミー（黄金色の蛹）が確認されはじめます。
※コレトップは、コレマンアブラバチ成虫が1ボトルあたり確実に
　250頭羽化するように調整しています（蛹の形で封入されています）。

テントップについて



●農薬登録情報(商品名:テントップ　天敵生物名:ナミテントウ)

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第23698号	野菜類(施設栽培)	アブラムシ類	10~13頭/㎡

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ナミテントウを含む農薬の総使用回数
発生初期	–	放飼	–

●放飼する前に

放飼直前にボトルをゆっくり10回程度回転させ、ボトル内のナミテントウの密度を均一にしてください。

●放飼する際

施設内のアブラムシが発生している箇所付近の葉上に少量ずつ放飼してください。

ツヤトップ25について

●農薬登録情報（商品名：ツヤトップ25　天敵生物名：オンシツツヤコバチ）

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第22757号	野菜類（施設栽培）	オンシツコナジラミ	25~30株当たり2カード

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オンシツツヤコバチを含む農薬の総使用回数
発生初期	−	放飼	−

●放飼する際

直射日光が当たらない葉柄等に吊り下げ、施設全面に放飼します。
オンシツコナジラミの発生しやすい施設の出入り口、側窓付近や、
例年オンシツコナジラミの発生が見られる箇所には重点的に放飼してください。

●放飼した後

放飼から約4週間後、下位葉裏にオンシツツヤコバチの黒いマミー（蛹）が
確認されはじめます。

※ツヤトップ25はオンシツツヤコバチ雌成虫が吊り下げ後に1カードあたり
確実に25頭羽化するように、蛹の数を調整しています。

スワマイトについて

●農薬登録情報(商品名:スワマイト　天敵生物名:スワルスキーカブリダニ)

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第23807号	野菜類(施設栽培、ただし、トマト、ミニトマトを除く)	コナジラミ類 アザミウマ類	25,000~50,000頭/10a

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スワルスキーカブリダニを含む農薬の総使用回数
発生直前~発生初期	−	放飼	−

●放飼する前に

放飼直前にボトルをゆっくり20回程度回転させ、ボトル内のスワルスキーカブリダニの密度を均一にしてください。

●放飼する際

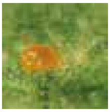
コナジラミ、アザミウマが侵入しやすい施設の出入り口、側窓付近や、例年発生が見られる箇所には重点的に放飼してください。

●放飼した後

スワルスキーカブリダニが定着すると、作物の花の中や葉裏の葉脈付近で見られるようになります。肉眼でも確認できますが、ルーペがあると観察に便利です。スワルスキーカブリダニは高い湿度を好むため、施設内の湿度を高めに保ちましょう。

※トマト、ミニトマトは適用対象外の作物であるため、スワマイトは使用できません。

ミッチトップについて



●農薬登録情報（商品名：ミッチトップ　天敵生物名：チリカブリダニ・ミヤコカブリダニ）

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第24466号	野菜類（施設栽培）	ハダニ類	250mL/10a（チリカブリダニとして400頭、ミヤコカブリダニとして1,600頭）

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チリカブリダニを含む農薬の総使用回数	ミヤコカブリダニを含む農薬の総使用回数
発生初期	–	放飼	–	–

●放飼する前に

放飼直前にボトルをゆっくり20回程度回転させ、ボトル内のミヤコカブリダニ、チリカブリダニの密度を均一にしてください。

●放飼する際

ハダニの発生しやすい場所（施設の出入り口や側窓、暖房機付近）や、例年ハダニの発生が見られる箇所には重点的に放飼してください。

●放飼した後

ミヤコカブリダニ、チリカブリダニは高い湿度を好むため、
施設内の湿度を高めに保ちましょう。
特にイチゴの高設栽培においては施設内が乾燥しやすいため、ご注意ください。

バコトップについて

●農薬登録情報(商品名:バコトップ　天敵生物名:タバコカスミカメ)

農薬登録番号	作物名	適用病害虫	使用量
第24524号	きゅうり(施設栽培) トマト(施設栽培) ミニトマト(施設栽培)	アザミウマ類(きゅうり) コナジラミ類(トマト) コナジラミ類(ミニトマト)	2株あたり1頭

使用時期	本剤の使用回数	使用方法	タバコカスミカメを含む農薬の総使用回数
発生初期	ー	放飼	ー

●放飼する際

作物付近で蓋を開封しタバコカスミカメの成虫を飛翔させ、内部の植物片ごとタバコカスミカメを作物上に設置し、植物片が1片残った状態のカップを株元に静置することで、偏りなく放飼できます。

●導入後の注意点

タバコカスミカメが作物上で高密度になり、かつ餌害虫を食べつくすと、植物体を吸汁することがあるため、十分注意してください。
本剤を使用した収穫後は施設を締め切り、内部の植物が枯死してタバコカスミカメが死亡したことを確認した後に残渣を排出してください。

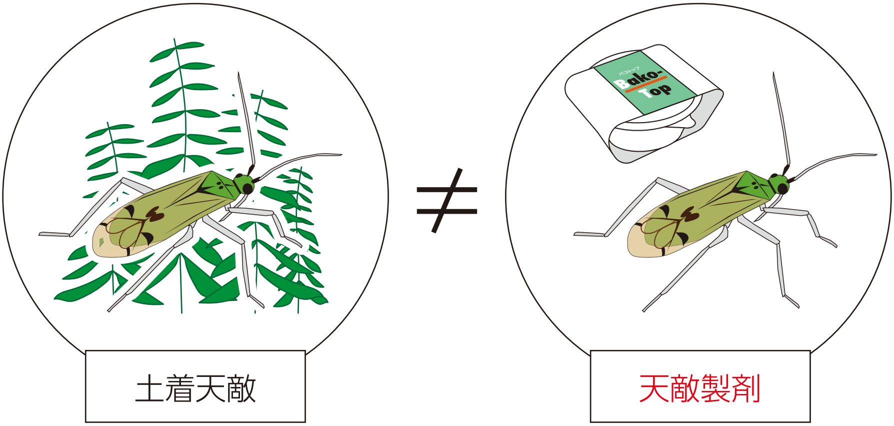
●苗に放飼する場合

定植前日、もしくは前々日の苗に放飼することで、作業がより簡易になります。

「天敵製剤」と「土着天敵」について

農作物等の病害虫防除のために利用される天敵生物は、農薬取締法において“農薬”と定義されており(農薬取締法第二条)、製造および販売に先だって農林水産大臣の登録を受ける必要があります(農薬取締法第三条)。また、その登録にあたっては、生物学的特性に応じた環境影響(生態学的影響)についても評価・検討されます。

弊社「天敵製剤」は、天敵生物を“農薬”として登録し、登録番号を取得して製剤化した“登録農薬”で、適用病害虫の範囲・使用方法等の登録内容を順守する限りにおいて、日本国内での使用が可能です。



一方、地域に生息しているタバコカスミカメなどの「土着天敵（地場の天敵生物）」を農作物等の病害虫防除に利用する場合も“農薬”扱いとなりますが、2003年に農林水産大臣及び環境大臣が「土着天敵」を“特定農薬（通称、特定防除資材）”として指定し、登録は不要とされました（農薬取締法第三条）。

ただ、「土着天敵」を採取場所以外の都道府県で使用すると自然環境や生態系に有害な影響を及ぼす可能性があることから、その使用は採取場所と同一の都道府県内（離島の場合は当該離島内）に限られます。

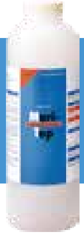
また、「土着天敵」を増殖や譲渡・譲受する場合は、記録等の管理措置や都道府県知事への届け出が求められます。

	対象	登録／指定	使用できる地域	製造場
天敵製剤	国内外の天敵生物	農林水産大臣の登録を受けている。（登録番号を取得）	日本国内での使用が可能。※登録内容を順守のこと。	商品ラベルに記載されている製造場以外での製造（増殖）は不可。
土着天敵	地域（地場）に生息している天敵生物	農林水産大臣及び環境大臣が“特定農薬”に指定（農林水産大臣の登録は不要）。	採取場所と同一の都道府県内に限られる。（離島の場合は当該離島内）	増殖する場合は規模等を記録すること。

各製剤の商品チラシやラベル等、さらに詳細な情報をご覧いただけます。

チリトップ
Chiri-Top

ミヤコトップ
Miyako-Top

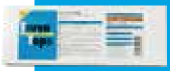


メリトップ
Meri-Top

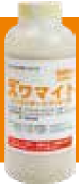
コレトップ
Cole-Top

テントップ
Ten-Top

リクトップ
Rik-Top



ツヤトップ25
Tsuya-Top25



スワマイト®

ミッチトップ
MiChi-Top

バコトップ
Bako-Top

第８版　2025.12

株式会社アグリ総研 アグリセクト営業部
www.agrisect.com
TEL 029-840-5977